

聖霊とともに 意味を見出せ

「絶対に曲げてはいけないこと 呪いを祝福に変える神」

民数記22 ネヘミヤ13:1~9

変化と問題

私たちの多くは問題に直面し、傷を受けた時に、その問題や傷そのものが私たちを変えてしまうと感じてしまいます。しかし実際は、その問題を通して行う私たちの決断が私たちを変えてしまっているのです。だから、私たちは自分たちの決断が本当にそれで良いのかと考える必要があります。多くの人は外見を気にしますが、大きい問題というのは内側にあるからです。

「古きは過ぎ去り、新しくなる」と聖書が語っているように、私たちは新しく造り替えられるために歩んでいます。しかし、まだ古い自分にまだ縛られてはいないでしょうか。自分がしたいことができずに、したくないことをしてしまう。など、古い自分は強く、これまでの生き方に戻そうとする力があります。車のタイヤが古くなり少しズレが生じると、まっすぐに進んでいるはずがいつの間にか道から逸れていきます。どれだけ車のボディを良くしても、道がズレるようでは意味がありません。運転している車のサイズがどのくらいかよくわかっていないのと同じように、私たちは人生を歩む中でどれほどの影響を与えているのかよくわかっていないことがあります。だから人を傷つけ、自分も傷だらけになってしまいます。「あなたは今の自分のことをよく知っていますか？」

それは本当に大切なこと？

私たちが点のように感じてわからないようなことも、神様によって線となり繋がっているのです。しかし、もし私たちが本来すべきではないことを妥協して行なっているとそれはうまくいきません。自分の今の生き方、行なっていることは本当にそれで良いのでしょうか？

本来すべきことを行わず、無駄なことに労力をかけていないでしょうか？本来すべきではないことに頑張っていないでしょうか？だからこそ、私たちは「絶対に曲げてはならないこと」を持たなければいけません。

ネヘミヤ記 13:1~9

ネヘミヤは王の献酌官でした。

本来、ネヘミヤは宦官などに就く立場の者ではありませんでしたが、口が堅く、知恵深く、王の相談役として忠実に仕えていたので王の信頼を得ていました。神様の御心に立って役割を担う時、このような想像以上のことが起こります。

「あなたはどうでしょうか？」

職場や学校でいろいろな感情が湧き上がりうまくいかないことがあるでしょう。でも、そのような状況の中でも正しい良心を持って正しく歩むことができる人は信頼される人であり、愛される人になっていきます。

神様の道に立ち正しく歩もうすると必ず妨害が起こります。しかし、その中で本当に信頼できる友ができるのです。出来ないと嘆いてやらないのか。困難の中でも立って本当の道を歩こうとするのか。どちらかを選ぶかで私たちの生き方は大きく変わっていくのです。「苦しみが生じた時、私たちはどう苦しむのか」苦しみを嘆くのか。それともなぜ私は苦しみを受けているのかを知るのか。苦しみの中で意味を見出すことが大切です。自分が病気であることを認めたくない人はそれを隠そうとし、嘆き、治そうとします。しかし、自分が病気であることを認めている人は病院へ行くことを恥だとも思いません。

傷（病気）が私たちを苦しめるのではなく、その傷によって生きる意味を失ってしまうことが苦しみとなってしまいます。それが心の空洞と呼ばれるのです。

人生の意味を見失っていないか

北海道の襟裳（えりも）岬で嵐に遭遇した船と2人の宣教師の話がありました。突然の災害の中どうしようもない状況に混乱する船内で、自分の生き方を全うし、自分の命を惜しむことなく他の人を助けるために働いた宣教師の2人。自分の生き方を理解し、どのように生きるかを知っている人は、どんな状況においても自分を見失うことはありません。あなたは「人生の意味」を見出せているでしょうか？「モアブ人王バラクとバラム」※「バラク＝荒廃略奪」という意味があり、「バラム＝むさぼり」という意味がある。バラムは神の前に忠実であったが、

お金を弱い部分がありました。そのためバラク王によってお金を積み、神様から行くなどと言われていたのにバラク王の元に向かいました。しかし、その道中に剣を持った神の使いと出会い、ロバを通してその姿を見ることができるようになり、バラクの元へ行ってはいけないということを知り、改めるというお話。私たちは、バラムのように何かで目が眩むと大切なことを見えなくなってしまう。愚かになって大切なことを見失ってはいないでしょうか。

神様がしてはいけないよと伝えていることをわかっているのに、自分を偽り、妥協して行なってしまう。本当はできることを出来ないように振る舞うなど、自分を欺き、やらなくて良いことに頑張り、礼拝、神様との関係など、本来尊ぶべきことを後回しにして目の前の欲をむさぼる生き方をしていないでしょうか。そのような環境で自分を失ってはいないでしょうか。

私たちは「本当に正しいことを行えているだろうか」と考える必要があります。良い関係のためにやり方を変えたりせずに本気で向き合おうとすると、本当に自分がすべきことを見つけ、本来の形に戻っていくことができます。自分に問いかけて、自分を正しく律することで、正しい判断を生むことができます。意味を見出せたならば、実行させるために唯一必要なことは「妥協しないこと」です。

チャックスミス

チャックスミスという牧師先生がいました。彼は最初の17年間ずっと牧会が上手くいかずに借金がなかなか返すことができず、ついには牧師をやめてビジネスマンになろうと考えていたそんな時、ある人によって426ドルが銀行口座に振り込まれ、借金を返済することができました。その牧師は大喜びし、美味しいものが食べられると感謝しました。しかし、神様がその時その牧師に伝えたのは、彼が本来の役割を失っているという事実だった。その牧師が17年間見ていたのは、神様ではなくお金でした。

神様は、チャックスミスを人数やお金を数えては嘆くような牧師になって欲しかったわけではありませんでした。神様はただ、彼と近い関係にあって、1人の魂が救われるのを共に喜んでくれる牧師となることを願っていたのです。そんなチャックスミスは、後にアメリカの偉大な牧師となります。

さいごに

ネヘミヤ記では2種類の人が出てきました。どのような状況においても神様が自分にしてくれた恵みに応えようと自分を律し、間違ったものを戻そうとした人たちと、様々な問題が生じるたびに妥協し、墮落し間違った選択をして神が定めた律法に従わなかった人たち。もし、あなたが今、1人残され周りに誰もいなかったら、自分自身を律することはできるでしょうか？

御言葉は自分に聞こえる良いものを選んで聞くことではありません。今、私たちがネヘミヤ記から学びを受けている意味とは何でしょうか。先祖であるロトの生き方から同じ選択をし、直す者と罪を犯すが絶え間なく繰り返してきた末裔たち。そして私たちも同じ過ちを繰り返す生き方をしてはいないでしょうか。あなたは神様に近づいていますか。

今までのやり方で大丈夫でしょうか。もし上手くいっていないのであれば神様の前で変わらなければいけません。心にある城壁は壊れていないか。心の内にある神殿は守られているのか。神様はあなたをどんな姿になって欲しいと願っておられるのか聞いてみましょう。今自身がしていること（仕事や人との関係）は、あなたを保っていますか？

今あなたがしていることがあなた自身を本来の姿に導いているのか。それが見出せない意味のない種蒔きとなり身を結ばないものとなってしまいます。意味を見出し、空いた穴を塞ぎ、神様の力を握り、まっすぐな道をブレずに歩めるように。プレた時も元の道に戻る力が備えられるのです。もし今心がズレていると感じるのであれば、祈りましょう。もう一度、神様を求めて立ち返ることができますように。

（要約者：藤林 把宇路）

（2024年6月9日）